

第4回外部評価委員会会議録

日時：平成28年3月11日（金）

午後1時30分から午後2時30分

場所：県庁10階 大会議室

(1) 徳島県立農林水産総合技術支援センター外部評価報告書（案）について（資料1）

1) 平成27年度外部評価活動報告

活動経過を報告。

2) 課題別評価の協議

・普及指導活動

各委員から、第3回委員会で報告した徳島農業支援センター・鳴門藍住農業支援センターの活動について、普及計画の重点課題に対する意見や評価を受けた。

（意見及び評価）

委員：松茂町で栽培された短葉性ネギを「浜葱」と名付け、包装を統一して出荷しているが、スーパーでは他県産の白ネギより安く販売されている。他県産並みの価格となるよう、ブランドの確立をお願いしたい。また、短葉性ネギは、消費者にはまだあまり知られていないようなので、PRをお願いしたい。

委員：自宅周辺において、ブロッコリーの栽培面積が増加しており、機械の導入による省力化の推進や栽培支援DVDの作成等きめ細かい指導による成果を実感している。

委員：専業農家への支援が中心となると思うが、他の仕事と兼業しながら農業の経験を重ね、技術を習得してから、就農するかどうか判断できれば、農業に付き易くなるのではないか。即仕事を止めて就農するのは、かなりの冒険である。

回答：就農について相談があれば、農業技術や農地・資金等について、アドバイスを行うとともに、研修カリキュラムの作成支援など個別指導を行っている。また、専業農家を志向している人には、青年就農給付金や農の雇用の活用を推進するとともに、農業大学校に社会人を対象としたアグリビジネススクールを設置するなど、農業者のニーズに合った支援体制を整備している。

委員：林業では、山林が集約化されているが、所有面積が小さい林家では、高齢化により経営が厳しい状況にあるため、冬期は林業、その他の間は別の仕事に就いている。農業でも、他業種を組み合わせた経営も考えられるので、地域の状況に応じて、兼業も含めた幅広い支援も必要である。

(2) 平成28年度外部評価実施計画(案)について

次年度の外部評価実施計画(案)について、評価のポイントや評価の手順及び年間スケジュール等を報告(資料2)し、了承された。

(3) その他

委員：徳島大学生物資源産業学部の入学状況はどうなっているのか。

回答：合格発表はまだである。推薦入試の状況は、大学センター試験を課さない推薦枠は8名あり、県内優勢枠は4名であったが、5名が合格している。また、徳島大学・県・教育委員会が連携し、人材育成の検討会を立ち上げ、研究内容、高校へのPR、農業大学校の機能向上について、検討している。